

授業科目名	体験ゼミナール (First-Year Experience in Regions)	履修年次: 必修:全学科1年	単位数: 1単位 45時間	担当教員名: 島田美恵子 他 (A412) 全教員 [各専門職資格]
		実務経験のある教員による授業科目	コード: SSA101	
〔DP〕 I. 倫理観とプロフェッショナルリズム II. コミュニケーション能力 VI. 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本学の特色科目は、千葉県下における保健医療福祉政策と実践活動、県下の多様な地域の人々の生活とその背景・価値観を理解するとともに、多職種間で連携して一人ひとりの健康生活を支援するための方法論を実践的に学ぶことが目的である。本科目は特色科目の基礎を築く科目であり、以下の6つを目標とする。 ①一人ひとりが主体的に学び、団体・グループが存在する地域特性を理解することができる。②地域の対象者やグループメンバーと積極的にふれあい、地域に住む人々の多様な生活や価値観に気づき、理解することができる。③地域社会における各団体・グループの位置づけ、機能、役割を理解できる。④学科間の相互理解を深めることができる。⑤学生として団体・グループで学ぶ時の態度・マナーを身につけることができる。⑥報告会や個人の報告書作成により、自己の学修を振り返り、今後の学習課題を明確にできる。				
〔授業の概要〕保健医療の専門職として、対象となる人々を「生活者」(その地で生活する人)としてとらえようとすることは重要である。この授業は学外実習形式で、千葉県内の県民が主体となって活動する場に公共交通機関を使って出向き、人々との交流を図ることを通じて、地域の特性や千葉県で生活する人々の多様な生活や価値観を理解する。あわせて、学科の枠を超えたチーム活動により、学科間の相互理解を深め合う。 キーワード: 学科間連携 主体的学習態度 地域活動 訪問学習 チームワーク				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/12	事前学習 1	全体講義 ガイダンス 大学の学び 本講座の目的	
第2回	4/19		全体講義 (事前学習の方法を学ぶ 協力団体説明)	
第3回	4/26		協力団体・チームを決める 担当教員との顔合わせ	
第4回	5/10	事前学習 2	グループ学習 訪問地の地域特性などについて情報収集し、計画をたてる。	
第5回	5/17			
第6回	5/24			
第7回	5/31	訪問学習	全体講義 (感染症対策・マナー) 事前学習報告会	
第8・9・10回	6/7・14・21		主体的にふれあい、積極的に意見交換する。体験で得た内容を話し合いながらまとめ、ポスター作成の準備をする。	
第11回	6/28		事後学習	
第12回	7/5			
第13回	7/12	報告会	ポスター発表 1	
第14回	7/19		ポスター発表 2 担当教員とのまとめ 総合まとめ	
第15回	7/26			
履修条件	なし			
予習・復習	課題の提示あり。自主学習時間でレポートを作成する。			
テキスト	なし(「体験ゼミナール実習要項」など、随時資料を配布する)			
参考書・参考資料等	必要に応じ紹介する。			
学生に対する評価	授業態度・実習内容・記録物(70%)、レポート(30%)を含めて総合的に評価をする。			

授業 科目名	千葉県健康づくり Health Promotion in Chiba	履修年次: 必修: 看・栄・歯・ 理・作 2年	単位数: 1単位 30時間 コード: SSA201	担当教員名: 科目責任者 荒川真 (研究室 幕張 A405)、 平岡真実、島田美恵子、 室井大佑、富樫恵美子、 須藤崇行
〔DP〕 I 倫理観とプロフェッショナルリズム、VI 多職種との協働、II コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県の健康づくり等保健医療福祉施策とその実践活動の実際を理解できる。 各専門職の専門性を理解し、多職種間で連携・協働して個人および地域の健康生活を支援する意義と方法を理解できる。 講義内容を踏まえ、千葉県の健康づくりの課題を設定し解決策をチームで検討・提案できる。 自ら健康づくりの大切さを認識し取り組むことができる。また、千葉県や自分が暮らす地域、さらには世界の健康づくりに関心を持ち続け、必要な方策の検討・実施・評価を重ねていく必要性を理解できる。 				
〔授業の概要〕健康づくりに取り組む専門職や住民の方々の講義(オムニバス方式)から、千葉県における健康づくり等保健医療福祉施策および当事者や国際的視野も含めた多様な実践活動について学ぶ。毎回、各講義内容に関して学科混成グループで議論し、その内容を全体共有することで理解を深める。さらに、講義内容を踏まえグループ毎に千葉県の健康づくりの課題を1つ選定し、その解決策を検討(リーフレット作成)し最終回に発表し合う。				
キーワード: 千葉県、健康づくり、地域づくり、国際理解、専門職、連携				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	10/2	本学で養成する保健医療専門職の専門性	・授業ガイダンス ・本学で養成する専門職紹介①	各学科専攻教員
第2回	10/9		・本学で養成する専門職紹介②	各学科専攻教員
第3回	10/16	健康づくり施策	・千葉県の健康課題と健康づくり施策	県医療担当部長、各学科専攻教員
第4回	10/23		・千葉県内自治体の健康づくり施策	自治体職員、各学科専攻教員
第5回	10/30	健康づくり～生きる力をはぐくむ～	・栄養と運動の実践	各学科専攻教員
第6回	11/6	地域づくり～地域で安心して生活するために～	・こころの健康づくり	自治体職員等、各学科専攻教員
第7回	11/13		・病気や障害を持つ方	当事者の会、各学科専攻教員
第8回	11/20		・病気や障害を持つ方の家族	家族の会、各学科専攻教員
第9回	11/27		・環境問題と災害	環境問題研究者、各学科専攻教員
第10回	12/4	国際理解	・災害支援	自治体職員、各学科専攻教員
第11回	12/11		・国際交流	国際貢献経験者、各学科専攻教員
第12回	12/18		・海外旅行者の健康支援	検疫所職員、各学科専攻教員
第13回	1/8	健康づくりの実践(演習)		
第14回	1/15		・リーフレット作成作業	各学科専攻教員
第15回	1/22		・リーフレット完成・発表	
履修条件	「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。			
予習・復習	予習は、テーマおよび内容に関する事項を図書館や県HP等で事前に得ておく。復習は、授業で話題になったことや考えたこと等に関連する事項(健康課題・課題解決方策・専門職としての役割等)について、各自調べ、今後の学習や活動に活かす。			
テキスト	資料を配布する			
参考書・参考資料等	授業の中で適宜紹介する。			
学生に対する評価	課題(70%)、学習態度(30%)により総合的に評価する			

授業 科目名	専門職間の連携活動論 (Interprofessional Education)	履修年次: 全学科 4 年	単位数: 1 単位 30 時間	担当教員名: 科目責任者 工藤美奈子 (幕張 A215) 全教員[各専門職資格]、他
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 VI 多職種との協働、II コミュニケーション能力、VII 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本科目は特色科目の総仕上げであり、4 年間培った自らの専門性を大切にしながらも、多学科間で連携して地域住民一人ひとりの健康生活を支援するための方法論等を実践的に学ぶ。 1. 保健・医療・福祉などさまざまな領域における専門職連携の重要性を理解する。 2. 各専門職と連携を図るための能力(方法・手段)・コミュニケーションスキルを身につける。 3. 専門職間の連携活動の機会を通じて対象者への理解を深める。				
〔授業の概要〕 保健医療福祉の実践では、関連する分野・職種の専門性と役割を認識し、相互理解・連携の必要性・重要性を理解して連携・協働することが大切である。本授業では演習形式により、学科の枠を超えて学生らがチームをつくり、対象となる人々の健康生活を支援するためのプランを協働で作成・発表する機会を設け、インタープロフェッショナルワーク(IPW)を実践的に体得(体験)する。これにより、将来の実現場において、チームの一員として専門的知識や技術を実際に活用する方法を学ぶ。 キーワード: 多職種連携、チーム、専門性、役割、インタープロフェッショナルワーク(IPW)				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回		オリエンテーション	科目概要・演習の進め方説明	担当教員
第2回	12/3(火)	全体講義	専門職間の連携(特別講義)	特別講義講師
第3回	I・II	事例の概要	事例の読み込み	チーム
第4回	III・IV	支援計画立案①	事例の読み合わせと情報交換	担当教員
第5回	12/5(木)			学科
第6回	I・II・	支援計画立案②	各職種の立場からの支援計画立案	担当教員
第7回	III			
第8回		模擬検討会(TW)	各学生の支援計画を基にしたディスカッションによる、チームとしての支援の共通目標・方向性の検討	チーム
第9回	12/10(火)			担当教員
第10回	I・II		各学生の支援計画の修正	
第11回	III・IV	TW後のふり返し、 発表準備	全体の支援計画のまとめと発表準備 自他の専門領域の対象理解や支援方法の違いの理解	
第12回		成果発表	各チームの支援計画および演習を通じた 多職種連携に関する学びの発表	チーム
第13回	12/12(木)			担当教員
第14回	I・II			
第15回	III・IV	まとめ	事後レポート、記録物の作成	
履修条件	「体験ゼミナール」、「千葉県健康づくり」の単位を修得済みであること。			
予習・復習	課題の提示あり。事例の支援計画立案にあたり必要な知識、自職種の専門性や用語等を他職種にわかりやすく伝えられるよう事前事後学習を行う。専門職間の連携に関する事項を各自調べる。			
テキスト	実施要項を配布する。			
参考書・参考資料等	必要に応じて紹介する。			
学生に対する評価	学習態度 55%、レポート 45%により、総合的に評価する。			

授業 科目名	社会実習 (ボランティア活動) Social Practice: Volunteer Activities	履修年次: 自由: 全学科専攻 2年・3年	単位数: 1 単位 45 時間 コード: SSA001	担当教員名: 科目責任者 田口智恵美 [看護師] (研究室 B320) 渡辺優奈, 佐久間貴士, 坂崎純太郎, 藤田佳男
		実務経験のある教員による授業科目		
		〔DP〕 I 倫理観とプロフェッショナリズム II コミュニケーション能力 V 健康づくりの環境の整備・改善		
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 保健医療専門職が提供する専門的サービスの目的・方法・特性について理解する。 2. 保健医療サービスを受ける人々の、健康、生活、価値観、健康づくりに関するニーズを理解する。 3. 保健医療サービスへの主体的参加を通して、保健医療専門職に求められる、役割、責務、資質、態度について理解する。 4. 活動体験とその振り返りを通して、自己の学習課題と学習方法を明確にする。				
〔授業の概要〕 保健医療専門職が提供する専門的サービスにおけるボランティア体験と事前学習・事後学習を通し、保健医療サービスとサービスを受ける人々の理解を深め、自らがめざす保健医療専門職の在り様について洞察し、今後の学習課題を明確にする。				
キーワード: サービスラーニング・ボランティア・保健医療サービス				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	4月8日	ガイダンス	社会実習の目的・概要 事前準備・事前学習について	田口智恵美
第2回	5月	全体講義	講義「ボランティアとは」	特別講義講師
第3回	5月		講義「サービスラーニングについて」	特別講義講師
第4回	6~7月	事前学習	参加するボランティア活動の決定 情報収集 (ボランティア活動内容、ボランティア活動で関わる人々、に関する情報収集)	田口智恵美 渡辺優奈 佐久間貴士 坂崎純太郎 藤田佳男
第5回			ボランティア活動の目標と活動計画を立てる	
第6回	8月9日 IV限	事前学習発表会	発表 事前学習内容の共有 社会実習活動計画書の作成	
第7回 ~13回	9~12月	体験学習	ボランティア活動に参加する 活動日誌を作成する	
第14回	1月	事後学習	ボランティア活動の学びのまとめ 社会実習活動報告書の作成	
第15回	未定	ボランティア活動報告会	発表 ボランティア活動と学び	
履修条件	体験ゼミナールの単位を修得済みであり、4月に行われるガイダンスに出席した者に限る。			
予習・復習	ガイダンスで指示する。			
テキスト	必要時、指示する。			
参考書・参考資料等	必要時、指示する。			
学生に対する評価	提出物とボランティア活動状況から適当と判断した場合単位認定する。			